

各常任委員会の活動

総務経済常任委員会（3月5日）



総務経済常任委員会では、3月5日に開パイ鳥上4団地でワイン用ブドウ栽培の増反状況を視察しました。既存の畑は9反あり、これに加え令和7年度に9反増反、令和8年度に7反増反する計画です。ここで取れたブドウを原料に横田ワインが製造されており、これまで「日本で飲む最高のワイン」コンクールでのゴールド賞をはじめ数々の賞を受賞されています。ワイン製造を担当されている島根ワイナリーの藤原課長さんからは「鳥上4団地はワイン用ブドウ栽培に適した地形と気候。」と評価されており、今回の増反につながりました。産地としての確立は、質とともに数量も重要な要素であると思います。この増反により横田ワインが増産され、仁多米、仁多牛に続く産物になることを期待します。

教育福祉常任委員会（4月15日、17日）



教育福祉常任委員会では、4月15日に奥出雲町社会福祉協議会を訪問、「社会福祉協議会の業務」について説明を受け、意見交換会を実施しました。少子超高齢化を迎えた今日、医療と介護の複合ニーズが一層高まっていくことが予測されます。本町の実態を正しく把握するためにも、地域包括ケアを主催する町と、医療機関、社会福祉協議会、さらに介護事業所が一緒になった地域ケア会議の、定期的な開催の必要性を改めて感じました。

また4月17日には、奥出雲病院を訪問、「今後の奥出雲病院のあり方」について説明を受け、意見交換会を実施しました。医療従事者の人材確保は、地域医療を守るために欠かせない課題であり、町をあげて取り組んでいく必要性を感じました。